

第9回かながわ教育学講座

令和3年12月5日、第9回かながわ教育学講座を開催しました。授業力の向上をテーマとした今回の講座では、受講者一人ひとりが作成した学習指導案(単元・題材と指導の計画)に基づいた模擬授業をし、グループ協議を行いました。



受講者は、第6回かながわ教育学講座の講義・演習で学んだ、「授業の目標」「評価規準」「評価の場面」をどのように設定するか、また、「子どもたちが主体的に学びに向かうために、どのような学習活動を取り入れるか」を考え、自分の希望する校種・教科等の指導案を作成して模擬授業に臨みました。また、授業で使用するオリジナルの教材・教具を携えている姿がたくさん見受けられ、今回の講座に対する意気込みや、授業に対する熱い気持ちを感じました。

模擬授業では、授業者が「子どもたちに身に付けさせたい力(資質・能力)」や、どのようなところを工夫しているかを説明してから、授業を行いました。初めての授業で緊張している受講者もいましたが、和やかな空気の中にも真剣に授業を行う姿は正に「将来の教員」といった様子で、模擬授業や協議が進んでいきました。

グループ協議では、授業者は他の受講者や指導を担当した所員から良かった点とアドバイスを聞き、自分の授業を振り返りました。どのグループでも、「ここはなぜこうしたのか?」「この場面はこうすると良いのでは…」と、お互いの授業をさらに良くするために受講者同士が意見を出し合い、授業の改善に向けて積極的に話し合う姿が見られました。



受講者の感想

- 自分の授業を見つめ直し、他者の授業を見られる大変貴重な機会でした。今日考えたこと、学んだこと、教えてもらったことなどを今後にも活かしていきたいと思える講座でした。
- 周りの方々の模擬授業はどれも素晴らしかったので、もっと沢山の人の授業を見たかったです。学ぶものが大きかった3時間でした。
- いいなと思ったところはどんどん真似していきたいし、自分の改めるべきところは改善していきたいと思いました。